

# —平成30年度浄土宗人権同和室 活動報告—

## 1. 浄土宗差別戒名物故者追善法要

平成26年度までの差別戒名物故者追善法要は、「僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を図るため」として、平成8年から19回に亘り地方教化センターの協力を得て厳修してきました。

しかし近年では、差別戒名墓石の関係者である寺院住職、継承者の出席が減少し、出席者の多くは役職として出席している方々が多い傾向になっている状況でありました。



センターによる差別戒名物故者追善法要

また、法要と併せておこなっていただいた人権研修会につきましては、浄土宗人権同和啓発講師による「差別戒名について」と題しての講演を受講していただき、広く部落問題に起因する差別戒名問題についての研鑽していただきました。

平成27年度からは、より多くの教師にご参加いただけるように各地方教化センター開催の教化高等講習会に併修しておこなっていただくようにしました。その際に人権研修をおこない差別戒名物故者追善法要を通して、僧侶全般の意識啓発と人権意識の向上を図ることを目的としております。

平成30年度は延べ682名の参加をいただき、多くの教師に懺悔の誠を捧げていただきました。



人権研修会の様子

## 2. 差別戒名墓石改正

差別戒名の改正作業は、関係者の理解と協力のもと得られ平成27年度は1カ寺で無縁塔が完成。さらに2カ寺も差別戒名改正が完了いたしました。今後も改正へ向けた作業を進めてまいり令和元年度もさらに改正作業が進むよう積極的に取り組んでまいります。

### 3. 佐賀教区人権同和研修会（差別戒名物故者追善法要併修）

（平成30年4月12日） 佐賀教区・西福寺

佐賀教区の「差別戒名物故者追善法要」ならびに「人権同和研修会」は、西部組・武雄市の西福寺様を会場に開催されました。

佐賀教区では、平成6年から毎年4月に、この法要が勤められ、今回が25回目にあたり、教区内寺院の教師、寺族がこの法要、研修会に出席され、差別戒名物故者の方々に追善の誠を捧げ、また部落差別への理解、差別をなくすための人権意識の向上が図られています。

当日は、約86名の教師、寺族、運動団体の方々が参列

され、供養塔の御回向ならびに差別戒名物故者追善法要を厳修されました。法要後の研修会においては、浄土宗人権同和室室長の幸島正導師が講師を勤められ『浄土宗の取り組み』と題し、浄土宗における人権啓発の取り組みや、差別戒名、過去帳閲覧問題等々についてご講演をいただき、ご研鑽をいただきました。

続いて、雅ふみこ氏を講師に「LGBTをはじめとして」と題し講演いただくなど有意義な研修会となりました。



佐賀教区差別戒名物故者追善法要

### 4. 教区人権同和委員長連絡会 （平成31年2月15日） 浄土宗研修会館

平成30年度教区人権同和委員長連絡会を、浄土宗教化研修会館大ホールで開催。

事務連絡会では、機構改革後は浄土宗人権センターを拠点とし、浄土宗の人権啓発推進の態勢を一元化し継続していくことを報告いたしました。また、平成27年度よりセンター単位で開催いただきました差別戒名物故者追善法要及び人権研修会について、今後の方針および令和元年度より差別戒名物故者追善法要を教区人権同和委員長連絡会にて執り行う予定であることなどを説明いたしました。それから、過去帳開示は身元調査であり、差別につながるため教区内寺院へ過去帳開示の禁止の徹底をお願いいたしました。

事務連絡終了後の研修では、有限会社ビズ 社・パートナー・オフィス代表取締役の桑野里美先生を講師に迎え「ハラスメントのない職場環境の実現にむけて～怒りの感情コントロールとは～」と題し、ご講演いただきました。桑野先生から多様なハラスメント防止のために、最低限とるべき適切な対応とは何かを、法律に沿って具体的に説明いただきました。最後にアンガーマネジメント・怒りの感情コントロールの仕方をご教示いただきました。



ハラスメントについて実例を交えて講演  
いただいた桑野先生

## 5. 人権同和啓発講師研修会 (平成30年10月10日～11日)

平成30年度は、水俣市にて「水俣病」について学習を深めました。

1日目は、水俣病センター相思社の職員・葛西伸夫氏の案内で、水俣のフィールドワークと水俣病歴史考証館等の見学、2日目は、講義会場である湯の児「海と夕やけ」で、水俣病の講義を受けました。



水俣湾にて当時の様子や現状を説明  
いただきました。

1日目は、新水俣駅から大型バスにて、湯の児半島大崎鼻より不知火海・八幡残渣プールを眺望、チッソ工場周辺・チッソ社宅やその跡地・水俣川を車窓から眺め、水俣病の原因となるメチル水銀の混じった廃液が排出された百間排水口、水俣市立水俣病資料館を見学、埋立地親水護岸にある慰霊碑を参拝し、水俣で一番大きな漁村で、初期の患者激発地であった茂道漁港を訪れ、相思社のお仏壇にてお勤めをした後、水俣病歴史考証館

の見学を最後に、フィールドワークの研修が終了しました。

2日目の研修では、まずは、人権同和啓発講師から「熊本で見つかった差別戒名墓石」の報告があり、続いて相思社の常務理事である永野三智氏による体験談を伺い、また胎児性水俣病患者の坂本しのぶ氏の講話は、水俣病被害者互助会事務局の谷 由布氏を介して、こどもの頃



水俣病の後遺症などの現状を聞かせていただきました

からの体験や海外での活動に参加された時の体験談などのお話を聞き、その後、活発に質疑応答がおこなわれるなど、有意義な研修会となりました。



埋立地親水護岸にある慰霊碑で法要をおこないました。

(次回、令和元年度：大阪 開催予定)

## 6. 人権同和啓発講師レベルアップ研修会開催

(平成30年6月5～6日)

平成29年に、現在就任中の人権同和啓発講師(39名)に加え新たに29名の啓発講師が誕生しました。

そこで、新たに就任された啓発講師の基礎知識の向上を図るべく、3ヶ年にわたって年1回レベルアップ研修会を開催いたしております。



邑久光明園におけるフィールドワーク



邑久光明園副看護部長様より入所者の現状と課題を説明いただきました。

第2回目の研修では、ハンセン病の基礎を学ぶべく、岡山県の国立療養所邑久光明園および長島愛生園を会場にしての研修をおこないました。

研修会では、施設にて、ハンセン病の基礎知識を説明していただき、供養塔にて慰霊法要およびフィールドワークをおこないながら具体的な事例等を詳しく説明していただきました。1日目の夕方は啓発講師の山本師より浄土宗のハンセン病の取り組みおよびハンセン病の歴史等詳細に講義をいただきました。



供養塔にて慰霊法要をおこないました

(次回、令和元年度：大阪 開催予定)

## 7. 浄土宗平和協会

浄土宗平和協会(浄平協 JPA)は、個人及び団体による会員制で運営され、「平和」への取り組みがおこなわれています。

主とした活動として、①海外のNGO団体への支援 ②戦争・紛争、海外での災害へ緊急救援 ③私費留学生へのブックギフト ④浄土宗平和賞の4つの事業を、「平和念仏募金」により行っています。また、昨年度からよりいっそうの会員増強に取り組まれておりますので、ご協力方お願いいたします。

「ブック・ギフト」私費留学生希望図書支援事業



「ブックギフト in Nagoya」授与式



「ブックギフト in Kansai」授与式

私費で日本に留学している学生に、日本で学んでよかったことの小論文を提出していただき、希望される図書をプレゼントする事業。「第8回ブック・ギフト in Tokyo」が平成30年12月2日に大本山増上寺で、「第11回ブック・ギフト in Kansai」が12月2日に大本山知恩寺で、また名古屋で「第6回ブック・ギフト in Nagoya」が12月16日に尾張教区・建中寺で開催され、図書の授与式をおこないました。今回は計55名の留学生に、希望する図書が授与されました。

※平成31年4月1日をもって、浄土宗平和協会は社会部の所管となりました。

## 8. 実践講座における人権学習開講

平成30年度の教化研修会館「実践講座」における「ともいき編」の開講にあたり、すべての人の人権が尊重されることを目指し、人権問題について宗内の教師、寺族が楽しみながら人権意識の向上に努めていただくために「人権お笑い高座」と題して、落語家の露の新治氏を講師にお招きし、楽しみながら人権を考えていただきました。受講者からは、「人権と落語がどう結びつくかと思ったが、結果面白く、自分自身の人権感覚について再確認する機会になった。」等のご意見をいただくなど、ご好評をいただきました。



笑いを誘いながら人権についての学びを深めました

後半は、「冤罪」について考えていただくため金聖雄監督作の「獄友（ごくとも）」を上映し、狭山事件の石川さんをはじめとする、冤罪で苦しんでいる方々のドキュメンタリー映画を鑑賞いただき、冤罪問題についての気付きとしていただきました。次年度につきましても、楽しみながら人権意識を高めていただけるような講座を開講してまいります。

## 9. 浄土宗人権センター

平成28年度に、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に対応するため、浄土宗教化研修会館内に設置いたしました浄土宗人権センターは、浄土宗の機構改革に伴って、充実化をはかり、4月1日より新たな体制で活動することとなりました。

また、3月31日をもって閉室した人権同和室を中心に行っていた人権啓発等の活動につきましては、引き続き人権センターにおいて行ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。

### 啓発グッズ第2弾 啓発クリアファイル配布

平成30年度も、多くの寺院の皆様にご人権を考慮いただききっかけとして人権啓発グッズとして、クリアファイルを作成し全寺院に配布させていただきました。各種書類を入れ、たくさんの人の目に留まるようご活用ください。



## 10. 人権啓発パネル展 in 大正大学(12月3～7日)・佛教大学(1月21～25日)

平成29年度より、人権センター主催の人権啓発パネル展を開催することになりました。平成30年度は、12月3日～7日まで、大正大学にて「ハンセン病に関するパネル展」1月21日～25日で佛教大学にて「子どもの人権パネル展」をそれぞれ開催いたしました。



パネル展を見学される来場者



大正大学でパネル展のチラシを配るなむちゃんと天台宗公式キャラクターのしょうぐうさん

大正大学では、関係する4宗派合同の開催とし、パネル展開催期間中5日の成道会にてなむちゃんと天台宗公式キャラクターのしょうぐうさんと、

パネル展啓発をアピールいたしました。また同時に天台宗公開講座にも多くの方に出席いただきハンセン病への知識を深めていただきました。

続いて、佛教大学は、昨年に引き続きパネル展を開催！今年度は「子どもの人権」について開催をいたしました。25日は、皇學館大学の吉田明弘先生を中心とし、お寺おやつクラブ松島氏、西成子ども食堂川辺氏、佛教大学武内先生を交えてのパネルディスカッションを開催し、広く子どもについての人権意識を深めていただきました。



皇學館大学吉田先生

## 1.1. 『浄土宗人権教育シリーズ』

研修会などで教材として使っていただくため、啓発冊子「浄土宗人権教育シリーズ」を刊行しています。是非、積極的にご活用いただきたいと存じます。



浄土宗人権教育シリーズ 1  
『平等へのめざめ』

平成18年11月発刊

(A5版 291ページ ¥1,296 税込)

※4部 15章構成

第一部 「部落史」に学ぶ

第二部 仏教の歴史と人間観の変容

第三部 釈尊と法然の教え

第四部 仏教教団の過誤と差別へのめざめ



浄土宗人権教育シリーズ 2

『社会がなした病 ハンセン病差別と仏教』

平成19年5月発刊 (山本正廣師著)

(A5版 96ページ ¥648 税込)

※2章構成

第一章 誤解されているハンセン病

第二章 日本人のハンセン病観の形成



浄土宗人権教育シリーズ 3

『仏教における女性観』

平成19年8月発刊 (伊藤唯真師著)

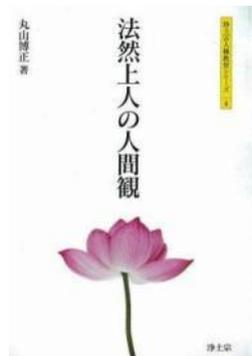
(A5版 71ページ ¥648 税込)

※3章構成

第一章 インド・中国の女性観

第二章 日本仏教での女性観

第三章 法然上人の「女人往生」思想



浄土宗人権教育シリーズ 4

『法然上人の人間観』

平成20年9月発刊 (丸山博正師著)

(A5版 78ページ ¥648 税込)

※3章構成

第一章 法然上人の文献

第二章 教義は『選択集』

第三章 み教えから探る人間観



浄土宗人権教育シリーズ 5

『業を見すえて』

平成25年9月発刊

(A5版 179ページ ¥972 税込)

※3章構成

第一章 仏教の業思想

第二章 日本の業思想

第三章 法然上人と業

第四章 まとめ

Q&A ほか

ぐしゃ じかく  
愚者の自覚を 家庭にみ仏の光を

いつく ともいき  
社会に慈しみを 世界に共生を

(浄土宗21世紀劈頭宣言)

平成31年4月

発行 浄土宗人権センター